

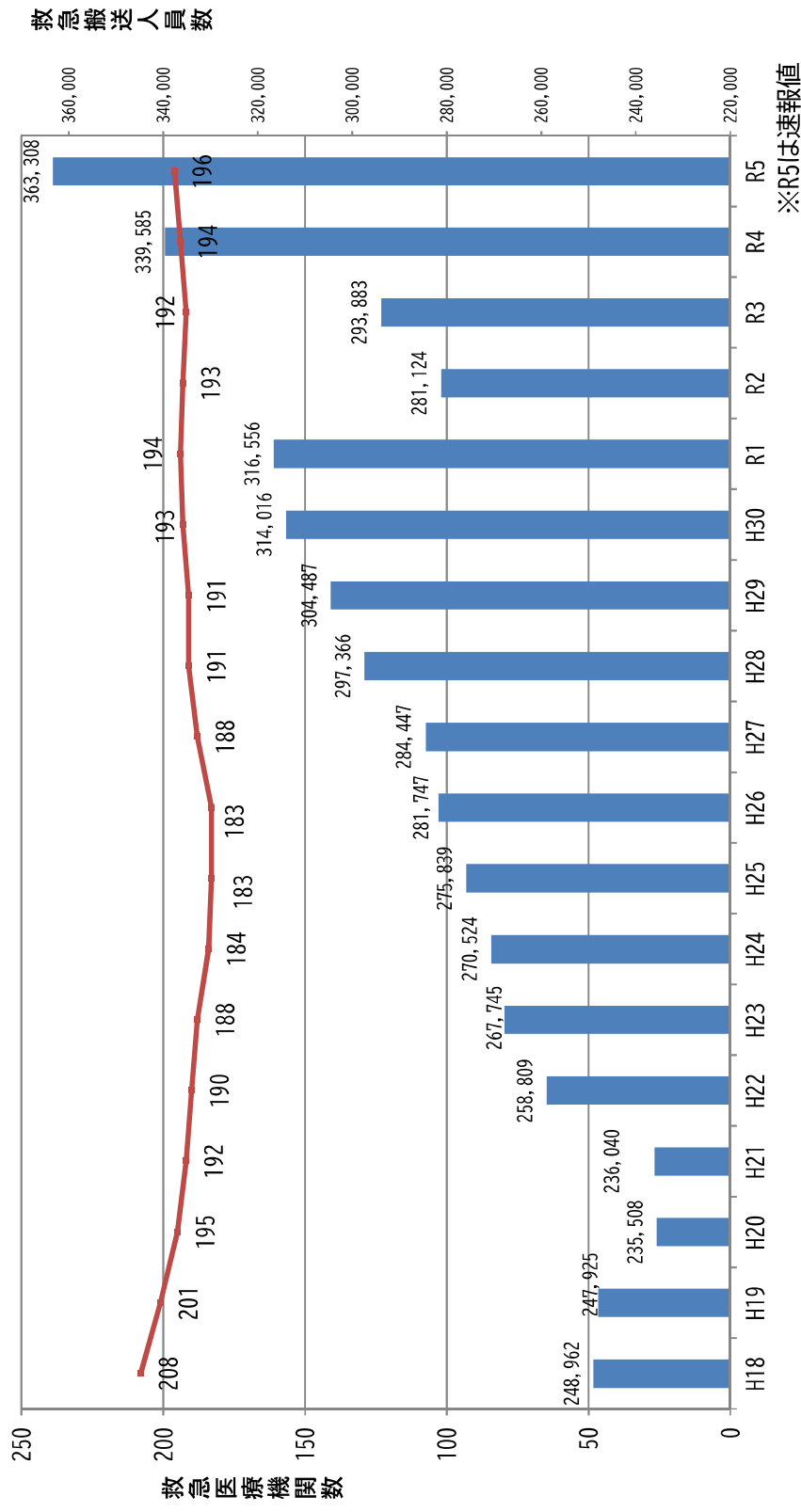
埼玉県の救急医療等について（救急医療体制）

資料 2

埼玉県の救急医療を取り巻く現状①

救急搬送患者が増加する一方、救急医療機関数が横ばいであり、1 救急医療機関当たりの負担が増加している。

（令和 2 年については新型コロナウイルスの影響等で救急搬送患者が大きく減少）



埼玉県の救急医療を取り巻く現状②

救急搬送人員数の伸びは、特に高齢者が多い（平成25年に比べて約42%増）

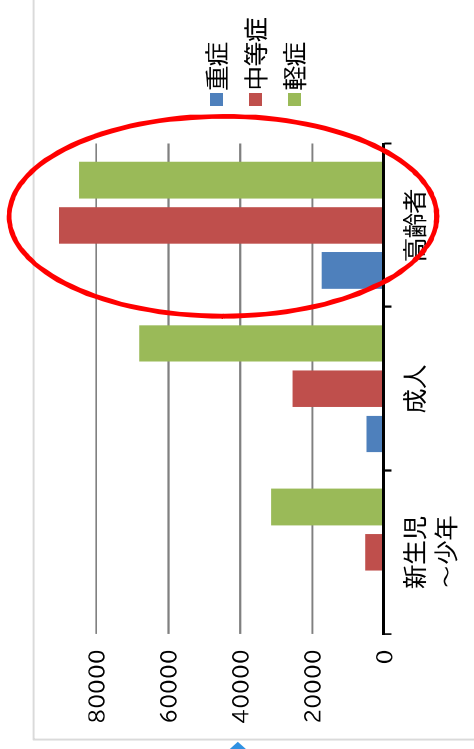
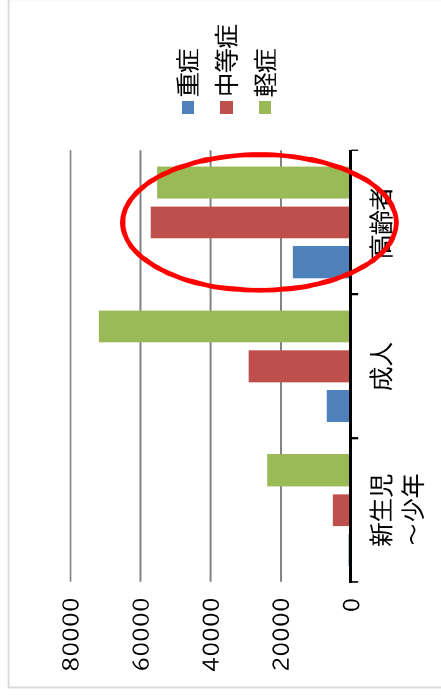
平成25年

	新生児 ～少年	成人	高齢者
重症	628	6,477	17,153
中等症	5,314	29,101	60,625
軽症	23,186	70,799	58,349
合計	29,128	106,377	136,127



令和5年（速報）

	新生児 ～少年	成人	高齢者
重症	282	4,836	17,314
中等症	5,263	25,459	91,367
軽症	31,515	68,006	84,773
合計	37,060	98,301	193,454



※新生児～少年…0～18歳未満 ※死亡・その他を除く
 高齢者 …65歳以上

埼玉県の救急医療体制①

埼玉県の医療資源

病院 342 診療所 4,600

うち、救急医療機関 病院 180 診療所 16

第三次救急医療体制

〔重篤〕な救急患者

- ・救命救急センター 11病院
- ・小児救命救急センター 2病院

第二次救急医療体制

〔手術〕又は〔入院〕が
必要な救急患者

救急告示医療機関 (196)
+ その他 (4) 狭山厚生病院、蓮田外科病院、
所沢市市民医療センター、
佐瀬病院
〔・病院群輪番制病院・・・135 医療機関〕
〔・小児救急輪番病院等・・・26 医療機関〕

初期救急医療体制

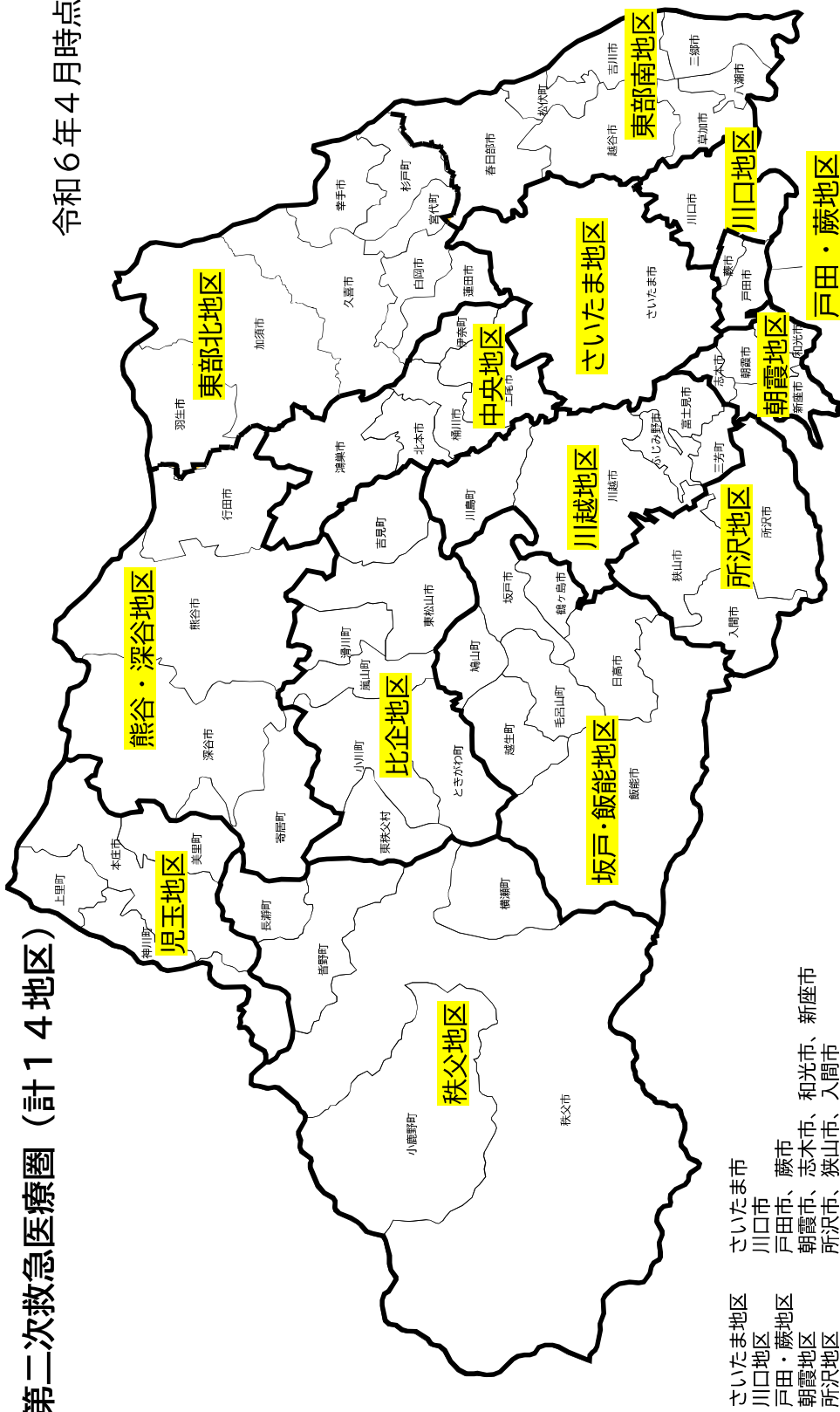
〔軽症〕の救急患者

在宅当番医制度 28 郡市医師会
休日夜間急患センター 27 か所

埼玉県の救急医療体制②

第二次救急医療圏 (計14地区)

令和6年4月時点



- | | | |
|---------|-------------------------------------|-------------------------------|
| さいたま地区 | さいたま市 | 飯能市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、毛呂山町、越生町、鳩山町 |
| 川口地区 | 川口市 | 秩父市、横瀬町、長瀬町、小鹿野町 |
| 戸田・蕨地区 | 戸田市、蕨市 | 加須市、久喜市、蓮田市、羽生市、白岡市、宮代町、杉戸町 |
| 朝霞地区 | 朝霞市 | 東部北地区 |
| 川越地区 | 川越市 | 東部南地区 |
| 中央地区 | 川口市、さいたま市、朝霞市、川越市、戸田市、蕨市 | |
| 熊谷・深谷地区 | 熊谷市、深谷市 | |
| 見玉地区 | 熊谷市、深谷市、本庄市、美里町、寄居町、長瀬町、小川町、比企町、比企村 | |
| 秩父地区 | 秩父市 | |
| 坂戸・飯能地区 | 坂戸市、飯能市 | |
| 比企地区 | 比企町、比企村 | |
| 川越地区 | 川越市 | |
| 所沢地区 | 所沢市 | |
| 朝霞地区 | 朝霞市 | |
| 戸田・蕨地区 | 戸田市、蕨市 | |

埼玉県の救急医療体制③

第三次救急医療体制

